

1 | GP-Pro EX へ ようこそ

GP-Pro EX の特長と、表示器の機種別に対応している機能の有無をご紹介します。また、本書のモデル環境についてご説明します。

1.1	GP-Pro EX とは	1-2
1.2	モデル環境	1-4
1.3	機種別サポート機能一覧.....	1-5

1.1 GP-Pro EX とは

GP-Pro EX は (株) デジタル製プログラマブル表示器用の画面作成ソフトです。簡単な操作で画面を編集できます。

1.1.1 特長

- 便利な機能で作画効率 UP
不用意な編集を避ける固定ピン機能や、部品の配置位置の調整が楽にできるガイド表示機能など、作画に便利な機能が満載。簡単に編集できます。
- 豊富なイメージパーツと美しい文字で分かりやすいデザインの画面作成
実物部品に近いイメージパーツを多数ご用意しています。
- 美しく見やすい画面表示
TFT カラーの機種では 65536 色、STN カラーは 4096 色、モノクロでは 16 階調の豊富な表現力。
TFT カラーでは JPEG や BMP などの画像データも美しく表現できます。
- メニューの表示は日本語 / 英語で切り替え可能
設計者の言語に合わせて、メニューなどシステムの表示を日本語 / 英語で切り替えられます。
- 多国語言語の画面が作成できます
日本語、欧米、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、韓国語、キリル文字、タイ語が使用できます。また運転中に言語を切り替えることもできます。
- 複数の異なる接続機器（PLC など）と接続可能
最大 4 種類の接続機器（PLC など）との通信が可能です。同一画面で異なる接続機器のアドレスを同時に扱えます。
- アドレスマップで簡単アドレス割り付け
アドレスマップからドラッグ＆ドロップするだけで、簡単に部品にアドレスを設定できます。
- 制御プログラムが作成できます
表示器から直接外部機器を制御するためのロジックプログラムが簡単に作成できます。ロジックプログラムで使用した変数を部品に割り付けるなど、画面作成と親和した操作が可能です。
- オンラインアップデートで楽々更新
ソフトウェア、マニュアルの更新情報がインターネットで配信され、ダウンロードできます。いつでも最新の状態でお使いいただけます。

1.1.2 GP-Pro EX Ver.2.0 で追加された主な機能

GP-Pro EX Ver.2.0 から使用できる主な機能についてご紹介します。

- サポート機種充実
GP3000 シリーズに加え、新たに LT3000 シリーズ、IPC シリーズの一部の機種に対応しました。
IPC シリーズを GP のように使用できます。
- パソコン上でシミュレーションができます
表示器にデータを転送する前に、イメージどおりに動作するかどうかをパソコン上で確認できます。
- コメントや銘板 / 文字列から部品の検索が可能
設定したすべての部品の中から条件にあった部品を検索します。置換も可能です。
- 表示器からパソコン画面を表示・操作できます
表示器にパソコン画面を表示し、タッチで操作できる RPA 機能が使用できます。
- USB ストレージへのデータ保存が可能
CF カード I/F のない機種でも、外部メモリへのデータ保存機能が使用できるようになりました。
また USB ストレージを使った画面転送も可能です。
- 部品の形状選択、配置が更に便利になりました
部品ツールボックスで、ご用意しているイメージパーツの中から好みのものを選択しドラッグ & ドロップで簡単に配置できます。
- 運転中でもロジックプログラムの編集ができます
- 接続機器（PLC など）のデータを一覧で確認できます
接続機器（PLC など）の現在値を表示器上に一覧表示し、値を変更できます。

1.2 モデル環境

本書で、操作や機能を説明する場合のモデルとなるシステム構成は以下の通りです。

これ以外のシステム構成では、表示や各部の名称が異なることがありますが、同等の機能をもつものと読み替えてください。

標準構成

機材・ソフト	モデルシステムの仕様	備 考
OS	Windows®2000	—
接続機器	三菱電機（株）製 Q/QnA シリアル コミュニケーションシリーズ	—
表示器	AGP-3500T	ビデオ / 動画機能では AGP-3550T を、ロジックプログラム機能では AGP-3500T-FN1M をモデルとして います。
パソコンと表示器との 接続方法	USB ケーブル接続	（株）デジタル製 USB 転送ケーブ ル AGP-USBCB-01(別売品) 使用

1.3 機種別サポート機能一覧

1.3.1 GP-3200 シリーズ

○: サポート : 機種に制限あり ×: 非サポート GP-3200シリーズ		AGP-3200T	AGP-3200A
256色作画 ^{*1}	👉 9-34 ページ	○	×
暗色ブリック	👉 5-110 ページ	○	×
複数の接続機器との同時通信	👉 7-3 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	👉 7-7 ページ	○	○
モデム転送	👉 33-49 ページ	○	○
SIO転送(COM接続)	👉 33-62 ページ	○	○
転送ツールのCFカード接続機能	👉 33-28 ページ	×	×
CFメモリロードツール機能	👉 33-36 ページ	×	×
USBメモリロードツール機能	👉 33-36 ページ	○	○
バックアップSRAMのCF保存	👉 5-122 ページ	×	×
アラーム履歴(CSV保存)	👉 19-55 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}
サンプリングデータ(CSV保存)	👉 24-20 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}
レシビ転送(CSVデータ転送)	👉 25-9 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}
CSV表示器でのデータ編集	👉 25-30 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}
ファイリングデータ保存	👉 25-42 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}
ファイルマネージャ機能	👉 25-85 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}
CFカード内のJPEGファイル表示	👉 9-62 ページ	×	×
画面キャプチャ	👉 12-18 ページ	×	×
スクリプト(CFファイル操作)	👉 21-36 ページ	×	×
AUX	👉 26-10 ページ	×	×
サウンド出力機能	👉 26-3 ページ	×	×
動画録画 / 再生機能	👉 27-11 ページ	×	×
VMユニット接続	👉 27-49 ページ	×	×
ロジックプログラム機能	👉 29-3 ページ	×	×
変数設定	👉 29-40 ページ	○ ^{*4}	○ ^{*4}
変数の保持機能	👉 29-76 ページ	×	×
I/Oドライバ設定	👉 31-4 ページ	×	×
RPA機能	👉 36-2 ページ	×	×
デバイスモニタ ^{*5}	👉 A-38 ページ	○	○
ラダーモニタ ^{*5}	👉 A-38 ページ	×	×
反転表示	👉 5-110 ページ	×	○
バックライト2色切替	👉 5-148 ページ	×	○
バックライト切れ検出	👉 5-111 ページ	×	×
クロスカーソル表示	-	○	○
縦型設置対応	👉 5-74 ページ	○	○
ユーザー画面エリア 8Mバイト	👉 6-5 ページ	×	×

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「9.5.1 カラーを設定する」(9-34 ページ)を参照してください。

2 2ドライバまで同時接続可能

3 USB ストレージを使用して実現できます。CF カードは使用できません。

4 変数は1000点まで設定できます。

5 接続機器の設定に依存されます。

6 ユーザー画面エリアは6Mバイトです。

1.3.2 GP-3300 シリーズ

GP-3300シリーズ		AGP-3302 B	AGP-3301L	AGP-3301S	AGP-3300L	AGP-3300L-D81	AGP-3300L-FN1M	AGP-3300S	AGP-3300S-D81	AGP-3300T	AGP-3300T-D81	AGP-3300T-FN1M
○:サポート :機種に制限あり ×:非サポート												
256色作画 ^{*1}	👉 9-34 ページ	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○
暗色ブリンク	👉 5-110 ページ	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○
複数の接続機器との同時通信	👉 7-3 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	👉 7-7 ページ	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
モデム転送	👉 33-49 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SIO転送(COM接続)	👉 33-62 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
転送ツールのCFカード接続機能	👉 33-28 ページ	×	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○	○	○	○	○	○	○	○
CFメモリローダツール機能	👉 33-36 ページ	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
USBメモリローダツール機能	👉 33-36 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バックアップSRAMのCF保存	👉 5-122 ページ	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アラーム履歴(CSV保存)	👉 19-55 ページ	○ ^{*4}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サンプリングデータ(CSV保存)	👉 24-20 ページ	○ ^{*4}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
レシビ転送(CSVデータ転送)	👉 25-9 ページ	○ ^{*4}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
CSV表示器でのデータ編集	👉 25-30 ページ	○ ^{*4}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファイレインデータ保存	👉 25-42 ページ	○ ^{*4}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファイルマネージャ機能	👉 25-85 ページ	○ ^{*4}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
CFカード内のJPEGファイル表示	👉 9-62 ページ	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画面キャプチャ	👉 12-18 ページ	×	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○	○	○	○	○	○	○	○
スクリプト(CFファイル操作)	👉 21-36 ページ	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
AUX	👉 26-10 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
サウンド出力機能	👉 26-3 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
動画録画 / 再生機能	👉 27-11 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
VMユニット接続	👉 27-49 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ロジックプログラム機能	👉 29-3 ページ	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
変数設定	👉 29-40 ページ	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}
変数の保持機能	👉 29-76 ページ	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
I/Oドライバ設定	👉 31-4 ページ	×	×	×	×	○	○	×	○	×	○	○
RPA機能	👉 36-2 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
デバイスモニタ ^{*7}	👉 A-38 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ラダーモニタ ^{*7}	👉 A-38 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
反転表示	👉 5-110 ページ	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×
バックライト2色切替	👉 5-148 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
バックライト切れ検出	👉 5-111 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クロスカーソル表示	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
縦型設置対応	👉 5-74 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ユーザー画面エリア 8Mバイト	👉 6-5 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「9.5.1 カラーを設定する」(9-34 ページ)を参照してください。

2 2 ドライバまで同時接続可能

3 USB 転送ケーブル接続時のみサポートしています。

4 USB ストレージを使用して実現できます。CF カードは使用できません。

5 FTP サーバへの画面キャプチャ保存はできません。

6 変数は 6000 点まで設定できます。

7 接続機器の設定に依存されます。

8 ユーザー画面エリアは 6M バイトです。

1.3.3 GP-3400 シリーズ

○:サポート :機種に制限あり ×:非サポート		AGP-3400S	AGP-3400S-D81	AGP-3400T	AGP-3400T-D81	AGP-3400T-FN1M	AGP-3450T
GP-3400シリーズ							
256色作画 ^{*1}	📖 9-34 ページ	○	○	○	○	○	○
暗色ブリンク	📖 5-110 ページ	○	○	○	○	○	○
複数の接続機器との同時通信	📖 7-3 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	📖 7-7 ページ	○	○	○	○	○	○
モデム転送	📖 33-49 ページ	○	○	○	○	○	○
SIO転送(COM接続)	📖 33-62 ページ	○	○	○	○	○	○
転送ツールのCFカード接続機能	📖 33-28 ページ	○	○	○	○	○	○
CFメモリローダツール機能	📖 33-36 ページ	○	○	○	○	○	○
USBメモリローダツール機能	📖 33-36 ページ	○	○	○	○	○	○
バックアップSRAMのCF保存	📖 5-122 ページ	○	○	○	○	○	○
アラーム履歴(CSV保存)	📖 19-55 ページ	○	○	○	○	○	○
サンプリングデータ(CSV保存)	📖 24-20 ページ	○	○	○	○	○	○
レシビ転送(CSVデータ転送)	📖 25-9 ページ	○	○	○	○	○	○
CSV表示器でのデータ編集	📖 25-30 ページ	○	○	○	○	○	○
ファイリングデータ保存	📖 25-42 ページ	○	○	○	○	○	○
ファイルマネージャ機能	📖 25-85 ページ	○	○	○	○	○	○
CFカード内のJPEGファイル表示	📖 9-62 ページ	○	○	○	○	○	○
画面キャプチャ	📖 12-18 ページ	○	○	○	○	○	○
スクリプト(CFファイル操作)	📖 21-36 ページ	○	○	○	○	○	○
AUX	📖 26-10 ページ	○	○	○	○	○	○
サウンド出力機能	📖 26-3 ページ	○	○	○	○	○	○
動画録画 / 再生機能	📖 27-11 ページ	×	×	×	×	×	○
VMユニット接続	📖 27-49 ページ	×	×	×	×	×	×
ロジックプログラム機能	📖 29-3 ページ	○	○	○	○	○	○
変数設定	📖 29-40 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
変数の保持機能	📖 29-76 ページ	○	○	○	○	○	○
I/Oドライバ設定	📖 31-4 ページ	×	○	×	○	○	×
RPA機能	📖 36-2 ページ	×	×	○	○	○	○
デバイスモニタ ^{*4}	📖 A-38 ページ	○	○	○	○	○	○
ラダーモニタ ^{*4}	📖 A-38 ページ	○	○	○	○	○	○
反転表示	📖 5-110 ページ	×	×	×	×	×	×
バックライト2色切替	📖 5-148 ページ	×	×	×	×	×	×
バックライト切れ検出	📖 5-111 ページ	○	○	○	○	○	○
クロスカーソル表示	-	×	×	×	×	×	×
縦型設置対応	📖 5-74 ページ	○	○	○	○	○	○
ユーザー画面エリア 8Mバイト	📖 6-5 ページ	○	○	○	○	○	○

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「9.5.1 カラーを設定する」(9-34 ページ) を参照してください。

2 4 ドライバまで同時接続可能

3 変数は 6000 点まで設定できます。

4 接続機器の設定に依存されます。

1.3.4 GP-3500 シリーズ

GP-3500シリーズ		AGP-3500L	AGP-3500L-D81	AGP-3500S	AGP-3500S-D81	AGP-3500T	AGP-3500T-D81	AGP-3500T-FN1M	AGP-3510T	AGP-3550T	AGP-3560T
○:サポート :機種に制限あり ×:非サポート											
256色作画 ^{*1}	👉 9-34 ページ	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
暗色ブリンク	👉 5-110 ページ	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
複数の接続機器との同時通信	👉 7-3 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	👉 7-7 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
モデム転送	👉 33-49 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SIO転送(COM接続)	👉 33-62 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
転送ツールのCFカード接続機能	👉 33-28 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
CFメモリローダツール機能	👉 33-36 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
USBメモリローダツール機能	👉 33-36 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バックアップSRAMのCF保存	👉 5-122 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アラーム履歴(CSV保存)	👉 19-55 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サンプリングデータ(CSV保存)	👉 24-20 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
レシビ転送(CSVデータ転送)	👉 25-9 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
CSV表示器でのデータ編集	👉 25-30 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファイレリングデータ保存	👉 25-42 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファイルマネージャ機能	👉 25-85 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
CFカード内のJPEGファイル表示	👉 9-62 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画面キャプチャ	👉 12-18 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スクリプト(CFファイル操作)	👉 21-36 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
AUX	👉 26-10 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サウンド出力機能	👉 26-3 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動画録画 / 再生機能	👉 27-11 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
VMユニット接続	👉 27-49 ページ	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
ロジックプログラム機能	👉 29-3 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
変数設定	👉 29-40 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
変数の保持機能	👉 29-76 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
I/Oドライバ設定	👉 31-4 ページ	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×
RPA機能	👉 36-2 ページ	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
デバイスモニタ ^{*4}	👉 A-38 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ラダーモニタ ^{*4}	👉 A-38 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
反転表示	👉 5-110 ページ	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
バックライト2色切替	👉 5-148 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
バックライト切れ検出	👉 5-111 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クロスカーソル表示	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
縦型設置対応	👉 5-74 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ユーザー画面エリア 8Mバイト	👉 6-5 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「9.5.1 カラーを設定する」(9-34 ページ)を参照してください。

2 4 ドライバまで同時接続可能

3 変数は 6000 点まで設定できます。

4 接続機器の設定に依存されます。

1.3.5 GP-3600/3700 シリーズ

○:サポート :機種に制限あり ×:非サポート		AGP-3600T	AGP-3600T-D81	AGP-3600T-FN1M	AGP-3650T	AGP-3750T
GP-3600/3700シリーズ						
256色作画 ^{*1}	🔗 9-34 ページ	○	○	○	○	○
暗色ブリンク	🔗 5-110 ページ	○	○	○	○	○
複数の接続機器との同時通信	🔗 7-3 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	🔗 7-7 ページ	○	○	○	○	○
モデム転送	🔗 33-49 ページ	○	○	○	○	○
SIO転送(COM接続)	🔗 33-62 ページ	○	○	○	○	○
転送ツールのCFカード接続機能	🔗 33-28 ページ	○	○	○	○	○
CFメモリローダツール機能	🔗 33-36 ページ	○	○	○	○	○
USBメモリローダツール機能	🔗 33-36 ページ	○	○	○	○	○
バックアップSRAMのCF保存	🔗 5-122 ページ	○	○	○	○	○
アラーム履歴(CSV保存)	🔗 19-55 ページ	○	○	○	○	○
サンプリングデータ(CSV保存)	🔗 24-20 ページ	○	○	○	○	○
レシビ転送(CSVデータ転送)	🔗 25-9 ページ	○	○	○	○	○
CSV表示器でのデータ編集	🔗 25-30 ページ	○	○	○	○	○
ファイレリングデータ保存	🔗 25-42 ページ	○	○	○	○	○
ファイルマネージャ機能	🔗 25-85 ページ	○	○	○	○	○
CFカード内のJPEGファイル表示	🔗 9-62 ページ	○	○	○	○	○
画面キャプチャ	🔗 12-18 ページ	○	○	○	○	○
スクリプト(CFファイル操作)	🔗 21-36 ページ	○	○	○	○	○
AUX	🔗 26-10 ページ	○	○	○	○	○
サウンド出力機能	🔗 26-3 ページ	○	○	○	○	○
動画録画 / 再生機能	🔗 27-11 ページ	×	×	×	○	○
VMユニット接続	🔗 27-49 ページ	○	○	○	○	×
ロジックプログラム機能	🔗 29-3 ページ	○	○	○	○	○
変数設定	🔗 29-40 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
変数の保持機能	🔗 29-76 ページ	○	○	○	○	○
I/Oドライバ設定	🔗 31-4 ページ	×	○	○	×	×
RPA機能	🔗 36-2 ページ	○	○	○	○	○
デバイスモニタ ^{*4}	🔗 A-38 ページ	○	○	○	○	○
ラダーモニタ ^{*4}	🔗 A-38 ページ	○	○	○	○	○
反転表示	🔗 5-110 ページ	×	×	×	×	×
バックライト2色切替	🔗 5-148 ページ	×	×	×	×	×
バックライト切れ検出	🔗 5-111 ページ	○	○	○	○	○
クロスカーソル表示	-	×	×	×	×	×
縦型設置対応	🔗 5-74 ページ	○	○	○	○	○
ユーザー画面エリア 8Mバイト	🔗 6-5 ページ	○	○	○	○	○

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「9.5.1 カラーを設定する」(9-34 ページ)を参照してください。

2 4 ドライバまで同時接続可能

3 変数は 6000 点まで設定できます。

4 接続機器の設定に依存されます。

1.3.6 LT3000 シリーズ

○ : サポート : 機種に制限あり × : 非サポート LT3000シリーズ		LT3201-A
256色作画 ^{*1}	👉 9-34 ページ	×
暗色ブリンク	👉 5-110 ページ	×
複数の接続機器との同時通信	👉 7-3 ページ	×
LAN接続	👉 7-7 ページ	×
モデム転送	👉 33-49 ページ	○
SIO転送(COM接続)	👉 33-62 ページ	○
転送ツールのCFカード接続機能	👉 33-28 ページ	×
CFメモリローダツール機能	👉 33-36 ページ	×
USBメモリローダツール機能	👉 33-36 ページ	○
バックアップSRAMのCF保存	👉 5-122 ページ	×
アラーム履歴(CSV保存)	👉 19-55 ページ	○ ^{*2}
サンプリングデータ(CSV保存)	👉 24-20 ページ	○ ^{*2}
レシビ転送(CSVデータ転送)	👉 25-9 ページ	○ ^{*2}
CSV表示器でのデータ編集	👉 25-30 ページ	○ ^{*2}
ファイレリングデータ保存	👉 25-42 ページ	○ ^{*2}
ファイルマネージャ機能	👉 25-85 ページ	○ ^{*2}
CFカード内のJPEGファイル表示	👉 9-62 ページ	×
画面キャプチャ	👉 12-18 ページ	×
スクリプト(CFファイル操作)	👉 21-36 ページ	×
AUX	👉 26-10 ページ	×
サウンド出力機能	👉 26-3 ページ	×
動画録画 / 再生機能	👉 27-11 ページ	×
VMユニット接続	👉 27-49 ページ	×
ロジックプログラム機能	👉 29-3 ページ	○
変数設定	👉 29-40 ページ	○
変数の保持機能	👉 29-76 ページ	○
I/Oドライバ設定	👉 31-4 ページ	×
RPA機能	👉 36-2 ページ	×
デバイスモニタ ^{*3}	👉 A-38 ページ	×
ラダーモニタ ^{*3}	👉 A-38 ページ	×
反転表示	👉 5-110 ページ	○
バックライト2色切替	👉 5-148 ページ	○
バックライト切れ検出	👉 5-111 ページ	×
クロスカーソル表示	-	×
縦型設置対応	👉 5-74 ページ	×
ユーザー画面エリア 8Mバイト	👉 6-5 ページ	×

- 1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「9.5.1 カラーを設定する」(9-34 ページ) を参照してください。
- 2 USB ストレージを使用して実現できます。CF カードは使用できません。
- 3 接続機器の設定に依存されます。
- 4 ユーザー画面エリアは 6M バイトです。

1.3.7 IPC シリーズ

IPCシリーズ		PS-3651A	PS-3650A	PS-3700A	PS-2000B
○:サポート :機種に制限あり ×:非サポート					
256色作画 ^{*1}	🔗 9-34 ページ	○	○	○	○
暗色ブリンク	🔗 5-110 ページ	○	○	○	○
複数の接続機器との同時通信	🔗 7-3 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	🔗 7-7 ページ	○	○	○	○
モデム転送	🔗 33-49 ページ	×	×	×	×
SIO転送(COM接続)	🔗 33-62 ページ	×	×	×	×
転送ツールのCFカード接続機能	🔗 33-28 ページ	○	○	○	○
CFメモリローダツール機能	🔗 33-36 ページ	×	×	×	×
USBメモリローダツール機能	🔗 33-36 ページ	×	×	×	×
バックアップSRAMのCF保存	🔗 5-122 ページ	○	○	○	○
アラーム履歴(CSV保存)	🔗 19-55 ページ	○	○	○	○
サンプリングデータ(CSV保存)	🔗 24-20 ページ	○	○	○	○
レシビ転送(CSVデータ転送)	🔗 25-9 ページ	○	○	○	○
CSV表示器でのデータ編集	🔗 25-30 ページ	○	○	○	○
ファイレリングデータ保存	🔗 25-42 ページ	○	○	○	○
ファイルマネージャ機能	🔗 25-85 ページ	○	○	○	○
CFカード内のJPEGファイル表示	🔗 9-62 ページ	○	○	○	○
画面キャプチャ	🔗 12-18 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
スクリプト(CFファイル操作)	🔗 21-36 ページ	○	○	○	○
AUX	🔗 26-10 ページ	×	×	×	×
サウンド出力機能	🔗 26-3 ページ	○	○	○	○
動画録画 / 再生機能	🔗 27-11 ページ	×	×	×	×
VMユニット接続	🔗 27-49 ページ	×	×	×	×
ロジックプログラム機能	🔗 29-3 ページ	×	×	×	×
変数設定	🔗 29-40 ページ	○	○	○	○ ^{*4}
変数の保持機能	🔗 29-76 ページ	×	×	×	×
I/Oドライバ設定	🔗 31-4 ページ	×	×	×	×
RPA機能	🔗 36-2 ページ	×	×	×	×
デバイスモニタ ^{*5}	🔗 A-38 ページ	○	○	○	○
ラダーモニタ ^{*5}	🔗 A-38 ページ	×	×	×	×
反転表示	🔗 5-110 ページ	×	×	×	×
バックライト2色切替	🔗 5-148 ページ	×	×	×	×
バックライト切れ検出	🔗 5-111 ページ	×	×	×	×
クロスカーソル表示	-	×	×	×	×
縦型設置対応	🔗 5-74 ページ	×	×	×	×
ユーザー画面エリア 8Mバイト	🔗 6-5 ページ	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「9.5.1 カラーを設定する」(9-34 ページ)を参照してください。

2 4 ドライバまで同時接続可能

3 FTP サーバへの画面キャプチャ保存はできません。

4 変数は 6000 点まで設定できます。

5 接続機器の設定に依存されます。

6 ユーザー画面エリアは 16MB です。

